

「推奨技術」「準推奨技術」について

新技術活用システム検討会議が選定

推奨技術(10件)

公共工事等に関する技術の水準を一層高めるために選定された、画期的な新技術。

準推奨技術(32件)

公共工事等に関する技術の水準を一層高めるために選定された、画期的だが、更なる発展を期待する部分がある新技術

選考要件

従来に比べ飛躍的な改善効果を発揮

先駆的な取り組みであり幅広い活用が期待される

技術内容が画期的で将来飛躍的な効果の改善が期待できる

国際的に先端を行く技術、先進諸国への技術展開の期待

応用性等が高く、国際的な課題の解決に資する

新技術活用システム検討会議に推薦

有用な新技術

活用促進技術(44件)

特定の性能又は機能が著しく優れている技術、など。

設計比較対象技術(162件)

技術の優位性が高く、安定性が確認されている技術。

少実績優良技術(59件)

技術の優位性は高いが、直轄工事等における実績が少ない技術。

新技術活用評価会議が選定

少

実績件数

多

低

優位性

高

活用・評価

評価情報(活用効果評価、試行実証評価、事前審査)として反映された技術(約800件)

新技術(NETIS登録技術)(約4000件)

有用な新技術のインセンティブ

- 工事発注時の総合評価方式での加点
- 工事成績評定での加点(発注者指定型を除く)
- 設計業務の比較検討において対象技術とすることを設計図書に明記等